

【11】成道の月・日

[1] はじめに仏伝経典資料を紹介する。

[1-1] 「4月8日」とするもの。

①十二遊経；以三十五得道、從四月八日至七月十五日、坐樹下為一年。大正04 p.147上

[1-2] 「2月15日」とするもの。

①Nidānakathā；彼女（Sujātā）は大士が苦行をして第6年を満じられたとき、ヴェーサーカ月の満月の日に……（*sā mahāsattassa dukkarakārikam karontassa chaṭṭhe vasse paripuṇṇe visākhapunnāmāya*）。vol. I p.068

[1-3] 「2月23日」とするものもある。

①仏本行集経 卷25～30；爾時菩薩六年既滿、至春二月十六日時、内心自作如是思惟、我今不応將如是食、食已而証阿耨多羅三藐三菩提……至於二月二十三日、於晨朝時、齊整著衣欲向優婁頻螺聚落而行乞食……。第四於夜後分明星將欲初出現時、夜尚寂靜一切衆生行与不行皆未覚寤、是時婆伽婆即生智見、成阿耨多羅三藐三菩提。大正03 pp.771中～795下

[1-4] 次は「2月8日」とする。

①過去現在因果経 卷3；爾時菩薩以慈悲力、於二月七日夜、降伏魔已、放大光明即便入定思惟真諦於諸法中……、第三夜分破於無明、明相出時得智慧光、断於習障成一切種智。（明相が出てからであるから、成道は2月8日を示すと考えられる）大正03 p.641中～642中

[2] その他のインド撰述文献を紹介する。

[2-1] 「2月15日」とするもの。

①Mahāvamsa；マガダのウルヴェーラーの菩提樹のもとで大聖者はヴェーサーカ月の満月の日に（*vesākhapunnāmāyam*）無上菩提に到達された（*patto sambodhim uttamam*）。I-12 p.004

[2-2] 「2月8日」とするもの。

①大般涅槃経（40巻本） 卷30；如来初生出家成道轉妙法輪皆以（2月）八日。大正12 p.545上

②大般涅槃経（36巻本） 卷28；如来初生出家成道轉妙法輪皆以（2月）八日。大正12 p.790下

③薩婆多毘尼毘婆沙 卷2；二月八日沸星現時初成等生覚。大正23 p.510中

[3] 中国撰述文献を紹介する。

[3-1] 「2月8日」とするもの。

①釈迦譜 卷1；（出因果経）於二月七日夜降伏魔已放大光明……。大正50 p.034下

②歴代三宝紀 卷1；（僖王）十九年癸亥年三二月八日明星出時、朗然覚悟成無上道。大正49 p.023中

③唐護法沙門法琳別伝 卷中；周第六主穆王諱滿二年癸未二月八日、仏年三十成道、故普曜經云、菩薩明星出時豁然大悟。即此年也。大正50 p.207中

；仏以周惠王十九年癸亥二月明星出時成道者、亦有大過……。大正50 p.207下

④釈迦氏譜；二月七日夜、降魔……明星出時、霍然大悟得成正覺。大正50 p.092上

⑤仏祖統紀 卷2；二月七日惡魔退散……明星出時霍然大悟即八日曉天也得無上道為最正覺。大正49 p.146上

[3-2] 「4月8日」とするもの。

①歴代三宝紀 卷1；十二遊經云、仏從四月八日至七月十五日坐樹下以為一年。大正49 p.024

[3-3] 「3月8日」あるいは「3月15日」とするもの。

②大唐西域記 卷8；如来以印度吠舍佉月後半八日成等正覺、当此三月八日也。上座部則吠舍佉月後半十五日成等正覺、当此三月十五日也。是時如来年三十矣。或曰年三十五矣。大正51 p.916中

②釈迦方志 卷下；仏以唐国三月八日成道、上座部云、当此三月十五日成道。大正51 p.962下

ただし普通これは2月8日あるいは2月15日に相当することはすでに述べた通りである。